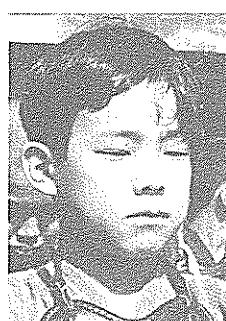
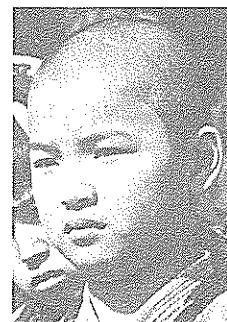


昭和54年3月15日発行(毎月2回1日・15日発行)編集と発行／南国市広報委員会／事務局／企画財政課広報広聴係



広報なんこく

3/15 1979 No.283

●44,000人の顔……まちで逢った人たち《田村、蔵福寺の“奉納野試合”から》

●きょうの話題・あすの話題

本材團地（製材、木工など約二十社、従業員四百人）に、あとの四七ぐらいをとにかく運動公園予定用地に造成しようとする市の方針が概略説明されました。

次に質疑に移り……

質問の主なものでは、「用途変更の話は数年前から新聞等で報道されていましたがかわらず、なぜ早く地元に相談できなかつたのか」というもので、その他の例をも引き出しての「行政不信」の発言が多く出されました。

これに対する市長の答えは、「行政にたずさわるものとして、ある程度内容が具体化してからでないと説明すべきでないと考えた」として、考え方にくい違いを見ました。

その他の質問をひらってみますと

①地元があくまで反対を続けた場合どうするのか。

②用地買収につき不均衡がありはしなかつたか。

③最初から帳尻することを見込んで買収したのではないか。

④地元を納得させるために、もう少しくわしい、よくわかる資料がほしい。

⑤今の計画が地元めでて作られている。それを納得せよではないかにも無理だ。

⑥木材闇地がきた場合のメリット（利益）は……。

⑦木材闇地以外に活用する方法はなかつたか。

これらの質問に対する答えは次

策特別委員会が発足

人々たち約三百人にも重大な影響をおよぼして、市の基幹産業の園台骨を大きくゆるがっています。

昨年の造船不況（市内離職者六十人）に続く、今回の『鈴江製薬産』にみられる農機具業界への風あたりは深刻で、市は遅ればせながら、二月九日、市議会議員十人で構成する『南園市不況対策特別委員会』（松本二郎委員長）を

のとおりです。
①絶対反対なら白紙にもどさざるを得ないが、こうした事態はなんとか避けてもらいたい。反対があるのですぐ中止というわけにはいかない。
②不均衡はなかつたと思う。
③毛頭そんなつもりはなかつた。
④次の説明会には図面などを調査し、わかりやすく説明したい。
⑤前述のように、ある程度につまつた計画をもたないと地元に相談するべきではないと思ったので、今夜になつてしまつた。
⑥今は数字では表わせないが、メリットとしては、市が財政的に助かることや約三百人の地元雇用計画などだ。用地がくることによって田園都市の要素を阻害すること足させました。

とはないと思う。

(7)県との話し合いの中でいくつかあつたが、結論がこれである。

以上のような話し合いがなされました。約三時間かかった第一回目の話し合いは、地元の不満が強く市の方針も不透明な部分もあり、「ものわかれ」の形となりました。

この会の最後に総代の方から発言があり、「私たち田府地区民は山緒ある土地を守るため、決して歓迎しているものではない。買収に応じた地権者たちは、あくまで「運動公園」のためにと協力したものです。これに對して、市の計画のすめ方は住民の不安と不満を増すやり方だと思うので反省してもらいたい」との発言が印象的でした。

惜しまれながら
“有線”消える



市民の“有線”として親しまれ、広く活用されてきた有線電話が、このほど十七年間の歴史の幕を閉じました。

昭和二十七年に設立された南国市農事放送農業協同組合は、有線普及ピーク時には四千七百人ちかくの組合員をもち、広く利用されてきました。しかし、昭和五十三年度末には公社電話などにおされ、組合員も約千五百人に減少しました。

この現状を憂慮した組合の臨時総会が一月三十日に開かれ、累積赤字約四千六百万円の発表もあり、協議の結果、有線本部の“解散止むなし”が議決され、有線の廃止となりました。

なお、残された負債額の整理については、県・市の援助をうけて清算する計画。

長い間、市などのお知らせや野菜市況など、貴重な情報機関として長年役立ってきた“有線”が消えることは、私たち市民にとって大変残念なことです。

ビンチ農機具業界

不況対策特別委員会が発足

とはないと思う。

(7)県との話し合いの中でいくつかあつたが、結論がこれである。

以上のような話し合いがなされました。約三時間かかった第一回目の話し合いは、地元の不満が強く市の方針も不透明な部分もあり、「ものわかれ」の形となりました。

この会の最後に総代の方から発言があり、「私たち田府地区民は山緒ある土地を守るため、決して歓迎しているものではない。買収に応じた地権者たちは、あくまで「運動公園」のためにと協力したものです。これに對して、市の計画のすめ方は住民の不安と不満を増すやり方だと思うので反省してもらいたい」との発言が印象的でした。

惜しまれながら
“有線”消える



市民の“有線”として親しまれ、広く活用されてきた有線電話が、このほど十七年間の歴史の幕を閉じました。

昭和二十七年に設立された南国市農事放送農業協同組合は、有線普及ピーク時には四千七百人ちかくの組合員をもち、広く利用されてきました。しかし、昭和五十三年度末には公社電話などにおされ、組合員も約千五百人に減少しました。

この現状を憂慮した組合の臨時総会が一月三十日に開かれ、累積赤字約四千六百万円の発表もあり、協議の結果、有線本部の“解散止むなし”が議決され、有線の廃止となりました。

なお、残された負債額の整理については、県・市の援助をうけて清算する計画。

長い間、市などのお知らせや野菜市況など、貴重な情報機関として長年役立ってきた“有線”が消えることは、私たち市民にとって大変残念なことです。



《北部運動公園》

木材団地へ売却を相談

地方にて被の説明会……國府では麿色の声

北部運動公園を作るために、市が四十一
年から五十二年にかけて買収していた比江
山の十八ヶ所を、財政再建のために売却する
件について、二月七日、地元国府で初の説
明会が開かれました。

とするものです。この売却により残った八ヶ岳のうち四分之一分を当初予定していた運動公園予定地に計画しています。

売却についての話は新聞紙上や議会で取りあげられているものの、市が地元に説明するのは初めてとあって、地元では難色を示す意見も出されるなど、長時間の討議となりました。

北陸運動公園用地は、市民の大いな期待により通称「比江山」に約十八㌶を購入していますが、赤字財政の表面化にともない、その処置をめぐりいろいろな検討がされてきました。しかし、それは具体化しないまま現在に至っています。

二月七日夜、国府小学校構堂で行われた説明会は、昨年末に県・市不満や不安があると思いますが、これからご相談する市の方針に

市・県中央木本材團地協同組合（木
材團地）の三者で大筋の合意に達
したので、地元に相談できる段階
にきたとの市の判断により第一回
の話し合いとなつたのです。
市からは小笠原市長、吉本・國
沢兩助役ら関係者、国府地区から
は約百名が参加しました。

たとして確保した運動公園用地を財政再建のために本村畠地へ用途変更を考えざるを得なくなりました。用途変更の話はいくつかありました。が、いずれも地元に相談で起きるところまで進まなかつたので今日までのびのびになつてしましました。

これからご相談する市の方針には不満や不安があると思いますが、環境の保全につきましては万全を期しますので、みなさんのご理解とご協力をいただきたい。今回一向だけの話し合いでの計画を決定、強行しようなどとはもうどう考えていません。ご了承をいただくまで何回でも話し合いをやろうと考えています」と、おわびとお願いのあいさつがありました。

この後、十八日のうち十時を

二〇

この号からしばらく国鉄の資料を続けてのせることにします。53年3月現在です。

3 4 市民カレンダー 一 3月21日から4月10日まで

日	衛生行事
20(水)	休日在宅医・千屋崎病院(稻生) 5-3355 不燃物の収集・後免(西町、栄町) 金属類の収集・十市、三和、前浜、下島、久枝、立田、田村
22(木)	不燃物の収集(植田、久礼田)
23(金)	不燃物の収集(植野、領石)
24(土)	不燃物の収集(瓶岩、上倉)
25(日)	休日在宅医・なんごく産婦人科(後免) 4-2910
26(月)	不燃物の収集(国府、岩村)
27(火)	破傷風の予防接種(2回目)・2:30~3:30 農協病院内科で(小学生以上、大人までの希望者) 不燃物の収集(笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原)
28(水)	破傷風の予防接種(2回目)・2:30~3:30 農協病院内科で(小学生以上、大人までの希望者) 不燃物の収集(中島、吉田、常通寺島、江村、小笠) 金属類の収集・物部、稻生、大篠
29(木)	不燃物の収集(十市北部)
30(金)	
31(土)	
1(日)	休日在宅医・東川整形外科(大塙) 3-3261
2(月)	不燃物の収集(十市南部)
3(火)	不燃物の収集(里改田、片山)
4(水)	不燃物の収集(浜改田) 金属類の収集・野田、後免、長岡
5(木)	不燃物の収集(前浜、下島、久枝)
6(金)	不燃物の収集(立田)
7(土)	不燃物の収集(田村)
8(日)	休日在宅医・前田診療所(稻生) 5-8209
9(月)	不燃物の収集(物部)
10(火)	不燃物の収集(稻生)

市の統計

2月

…54.2.28現在…

《面積》

124.98km²

《人の動き》

前月比	人口
うち男	21,965人
女	22,956人
世帯	14,127世帯
出生	44人
死亡	22人
転入	141人
転出	153人

《交通事故》

昨年2月	発生件数
31件(17件)	発生件数
0人(0人)	死者
41人(26人)	傷者

《火災》

昨年2月	発生件数
6件(1件)	発生件数
6件	うち建物
0件	林野

被害額 132万円(30万円)

《救急》

昨年2月	出動回数
72回(71回)	出動回数
32回	うち急病
16回	交通事故
13回	一般事故
11回	その他

《建築確認申請》

43件

南国市役所……783南国市大塙甲2301 3-2111(代)
領石支所2-0020 岡豊支所4-2423 三和支所5-8332 十市支所5-8401